

住信為替ニュース

THE SUMITOMO TRUST & BANKING CO., LTD FX NEWS

第1398号 1997年11月17日(月)

《 Congratulations but..... 》

イランを破ってワールド・カップ本戦出場を決めたこと「明るい材料」ですが、日本経済は当面難しい舵取りを迫られそうです。先々週の三洋証券の会社更生法申請に続く本日の北海道拓殖銀行の営業譲渡発表は、日本の金融システムが激しい変化と危機のただ中にあることを示している。

この「日本の金融システムの動向」が、世界のマーケットを動かす大きな材料となってきた。先週末から為替や世界の債券市場の相場は、日本に関する噂で大きく動き、世界の市場は日本の市場動向や当局の措置を中心に置き始めている。このことは、日本の株式市場の動揺が、政府の言うような香港やニューヨーク市場を起因とする「外国産」ではなく、「国産」であり、世界の市場安定のためにも日本がシステムの健全化に全力を尽くさなければならないことを明確に示している。ちなみに、金曜日の世界主要株式市場の中では、他の市場が反発を見せる中で、日本市場の下げが際立った。(最後の資料参照)

今週も波乱の一週間になりそうです。焦点は、日本の株価の行方と、株下落の中で高まっている日本の金融システム不安、それに対する当局の措置。株が下げ止まらないようだと、それを材料とした為替や債券相場の動きが世界各地の市場で見られるでしょう。

今週は予定を見ても、月曜日にサマーズ米財務副長官の来日があり、その後も日本政府の総合経済対策、10月の米消費者物価(ともに18日)、日米の貿易収支発表、ドイツ連銀理事会(20日)など、予定も目白押し。対立を深めるイランとアメリカの関係も重要です。サマーズは、月曜朝の段階で「円相場下落を懸念」と円安傾向に警告を発したと報じられている。この報道で円は126円台から125円台に移行。

先週末のニューヨーク市場では、日本に関する報道が相場の行方を大きく動かした。

経済企画庁が景気の停滞を認めたこと

それに関連して、現在0.5%になっている公定歩合の再引き下げ観測が出たこと

日本の一部銀行格付けの引き下げ

などが朝方円相場を押し下げた。対ドルでは、ニューヨークの円の安値は127円14銭。しかし、円はここから一気に125円台の前半まで上昇した。きっかけとなったのは

「総額8兆円の銀行救済基金を自民党が提案する」

「日本政府が、強力な景気刺激策を発表する」

という米系の通信社の流した報道を背景とした噂でした。これを受けて、ドル・ロングの貯まっていた市場では、円の買い戻しが活発化した。これに拍車をかけたのは、「欧州金利の低レベルでの収斂」に期待を表明したティートマイヤー・ドイツ連銀総裁の発言。これで、マルク・円の売りが活発化し、ドル・円の円高への急激な移行をもたらした。

円を急騰させた日本に関する噂は、ニューヨークの債券相場も大きく動かしました。景気刺激・金融システム救済措置の中で、日本の機関投資家がアセット・アロケーションを変更し、アメリカの債券市場から資金を引き揚げるのではないかとの見方による。この結果、円安・ドル高や、米小売売上高の0.2%減少(10月)の中で一時指標30年債で6.047%前後まで低下していた長期債利回りは上昇、引けでは6.10%となった。

《 need some plans to calm financial markets 》

実際には我々が知っている限りでは、先週末のニューヨーク市場で噂になったような

1. 強力な景気刺激策
2. 金融システムを守るための巨額な基金

の構想は発表できるような形で具体化したわけではないわけで、今週は具体的に日本がどう動くかがポイントになる。三洋、北海道拓殖銀行と噂に上っていた金融機関の行き詰まりは、他の同様の環境にある金融機関の経営にも大きな影響を与えられる。17日朝記者会見した北海道拓殖銀行の大野副頭取は、

「格付けや株価下落で、徐々に苦しくなっていたが、11月に入って三洋証券が会社更生法を申請したあたりから短期金融市場が厳しくなった。増資を実現させようと努力してきたが、先週に入ってだれも予想できないような状況になった」

と述べて、事態のスパイラル的な悪化を認めている。

こうしたスパイラル的な事態悪化を回避するには、株価の持続的な下落を止める必要があるが、今週こうした措置が取られるかがポイント。下落局面では、公的な資金が導入されると考えられる。一方で、短期的な見通しは別にして、長期的に経営再建の見通しが暗い金融機関に対する市場、預金者の目も厳しいでしょうから、長期的に日本のシステムを守るための仕組みを早急に公にしておく必要があると思われます。

こうした激しい変化と危機の時代を、日本がうまく乗り切れるかどうかには市場は関心を

集めるでしょう。北海道拓殖銀行の営業譲渡発表後の円相場下落は、日本の金融システム問題が、為替相場、債券相場を大きく左右していることを示している。引き続きアジアの株式市場も関心の的ですが、今週は日本の動向が大きな相場材料です。

一方アメリカに目を転じると、景気の鈍化を示す指標が目立ってきました。乗用車販売が落ちて、10月米小売売上高は0.2%の低下となった。エコノミストが0.3%の増加を予想していたのとは大きく食い違っている。加えて、9月の小売売上高も当初発表の0.3%増から0.1%減に大幅下方修正された。また物価は全く上昇の気配を示していない。10月の米卸売物価は、わずかに全体で0.1%の上昇となった。労働市場の逼迫を考えれば、これは極めて安定した動きだと言える。

世界的なデフレーション傾向を明確に示したのは、金相場のオンス300ドル割れです。欧州の中央銀行が保有金を売却するとの噂が相場を押し下げた面が強いのですが、世界的なインフレ沈静化傾向を明確化させた。金相場が300ドルを割り込むのは12年半ぶり。ニューヨークの金相場の安値は、299ドル50セント。

〈 have a nice week 〉

監督就任一試合目の最後の最後に日本のゴールが一つ決まったときに、

「これでひょっとしたら、ひょっとすると思う」

と述べた岡田監督の予感が、見事に当たった瞬間でした。日本のサッカーファンの皆さんには、本当に嬉しい一瞬だったと思います。サッカーにはそれほどでもない私も日曜日の夜は全部見て、NHK と フジの午前2時までの放送に付き合いました。

試合直後の岡田監督の潤んだ目、しばらくしてからの共同記者会見での冷静な対応、記者会見でのちょっと怪しいバイリンガル（英語と日本語でしたが、通訳の英語もひどかった）井原の「試合内容には不満がある」という言葉などが印象に残りました。負けたら、明日からの日本がそれだけで暗くなると思うと。

実際には、岡田さんが「選手を殴ってやろうと思いました」と言ったくらい、チャンスを逃した上での勝利。ただし、延長戦が安心して見ていられたのは、日本のボール支配時間が圧倒的で、時々のカウンターでヒヤッとしたただけだったからでしょうか。相手のペナルティー・キックを最小限に押さえたのも良かった。向こうは、高さがあるから、上げられれば苦しかった。

それにしても面白いと思ったのは、シンガポール経由でスタジアムをほぼ埋め尽くすほどの日本人が現地に行ったという事実です。博報堂生活研究所の関沢さんが、「日本人のラテン化」ということを前から言っておられるが、確かにそうした傾向は出ているように思う。テレビには、夜遅くまで各地でテレビの前に陣取って大騒ぎをしているファンの姿が映し出されている。

それにしても、今朝はスポーツ新聞にかじりついている人が多かった。しかし、新聞の

締め切りは午前1時30分くらいですから、載っている選手の談話も少ない。テレビの速報性には負ける。日刊紙も全部揃って休むような日ではなかったのに、絶好の儲け場を失っていますね。

今週は後半に大阪に伺いますので、このニュースは休みます。皆様には良い一週間を。

(資料)

Asian Stock Market Indexes

Market	Index	Nov. 14	Change
Australia	All Ordinaries	2479.10	- 0.99%
Hong Kong	Hang Seng	9957.33	+ 2.43%
Indonesia	JSX Index	436.843	- 1.13%
Japan	Nikkei	15082.52	- 2.23%
Malaysia	KLSE Composite	677.47	+ 0.18%
Philippines	PSE Index	1844.95	+ 2.30%
Singapore	STII	1700.26	+ 1.94%
S. Korea	Korea Composite	520.01	+ 0.10%
Taiwan	Weighted	7482.92	- 0.82%
Thailand	SET	456.87	+ 0.67%

European Stock Market Indexes

Market	Index	Nov. 14	Change
Belgium	Bel-20	2316.42	+ 0.52%
Britain	FT-SE 100	4741.80	+ 0.65%
France	CAC 40	2696.04	- 0.17%
Germany	DAX	3730.94	+ 0.72%
Italy	MIBtel	14852	+ 0.45%
Netherlands	AEX	852.05	+ 0.60%
Spain	General	554.18	+ 0.95%
Sweden	Affaersvaerlden	2821.05	- 1.16%
Switzerland	Swiss Market	5437.00	+ 0.35%
S. Africa	All Gold	777.3	- 4.27%

Americas Stock Market Indexes

Market	Index	Nov. 14	Change
Argentina	Merval Index	606.27	+ 2.19%
Brazil	Bovespa Index	8731	+ 8.16%

Canada	300 Composite	6726.18	+ 0.34%
Mexico	IPC Index	4532.76	+ 1.89%

<http://www2.gol.com/users/ycaster/>